

経営比較分析表（令和6年度決算）

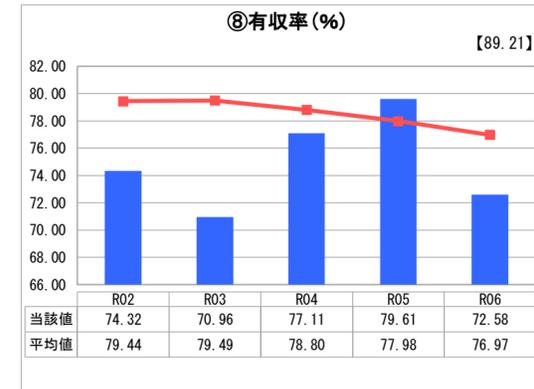
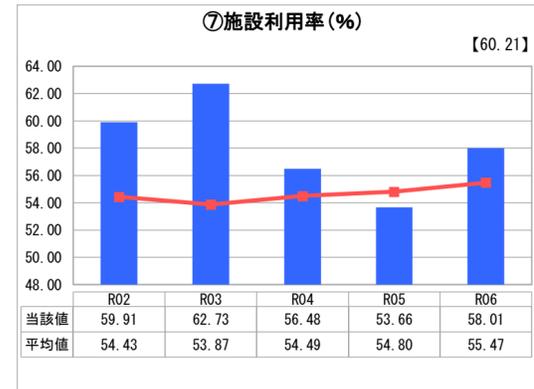
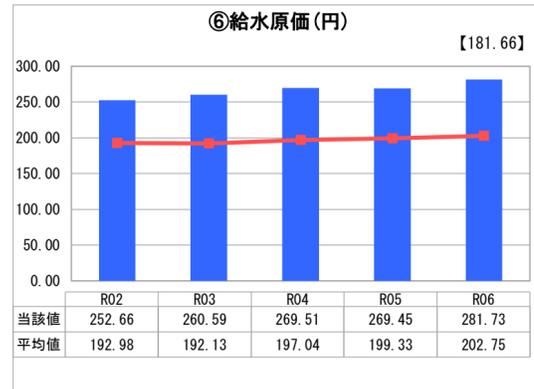
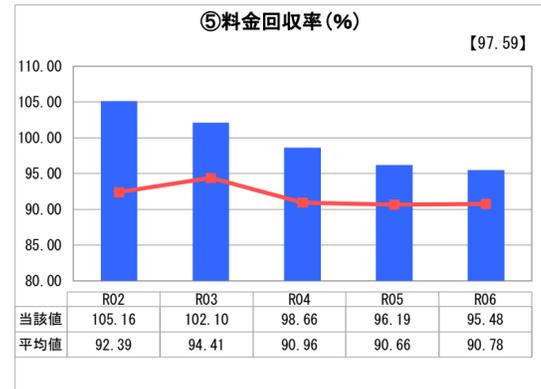
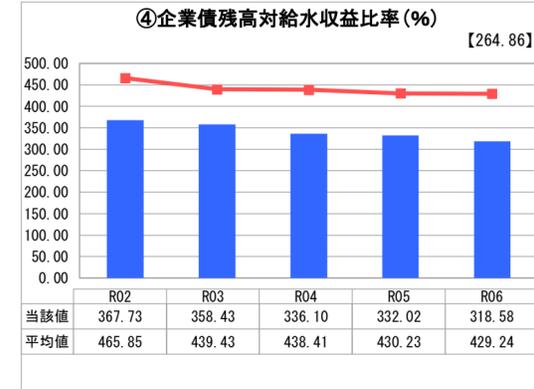
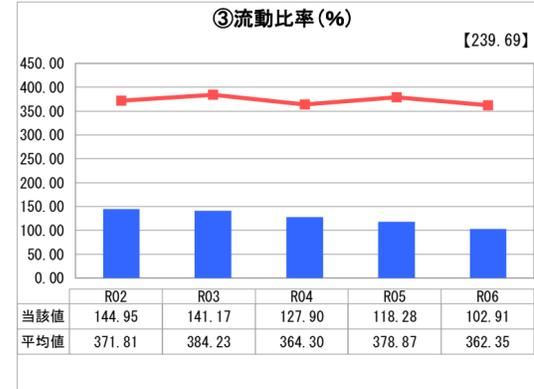
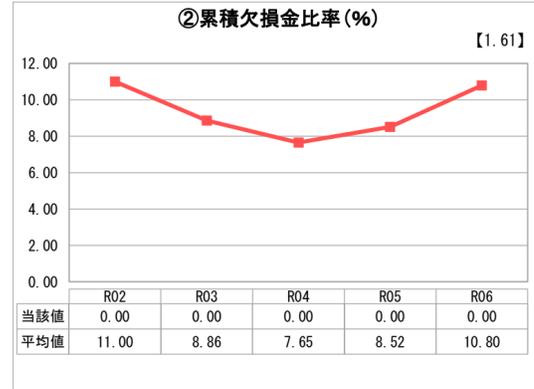
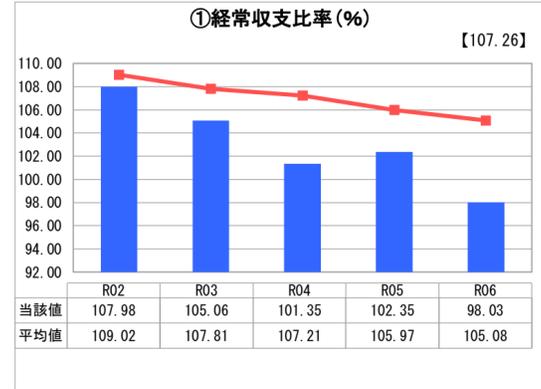
山形県 川西町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	55.14	99.44	5,280	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,385	166.60	80.34
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,205	88.75	148.79

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町水道事業は、給水人口の減少や節水器具の普及に伴い、年々水需要は落ち込んでおり、町としてもメディカルタウンの整備等により人口の増加に向け対策を講じているものの、減少傾向にあります。令和6年度の経営状況は、経常収支比率が100パーセントを下回り、単年度赤字を計上しております。また、流動比率は100%を上回っているものの、減少傾向が続いており、料金回収率についても100%を下回っており、経営の改善を図っていく必要があります。

具体的には、水道料金の改定や給水停止を含めた水道料金の徴収(未収金対策)を継続実施し、収入の確保を図ってまいります。

また、不明水(漏水)の減少に努め、有収率を向上させる必要があります。令和6年度は漏水が多発し、漏水調査等を行いながら、有収率の向上を目指してまいりましたが、結果としては令和5年度から7.03%低下し、72.58%となりました。全国平均と比較すると有収率が低位であり、今後も継続して漏水調査を実施してまいります。

また、企業債残高対給水比率は年々減少しているものの、全国平均との比較では未だに高い水準となっています。

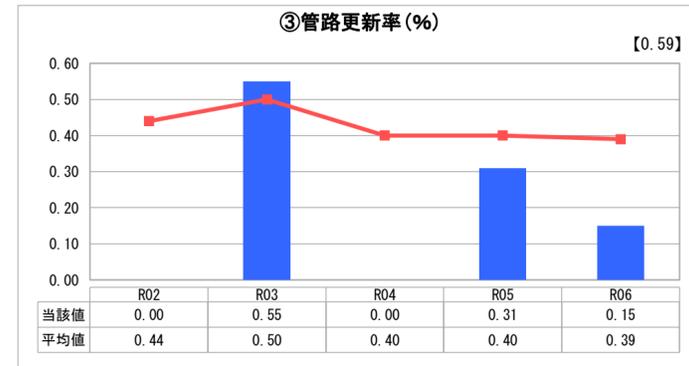
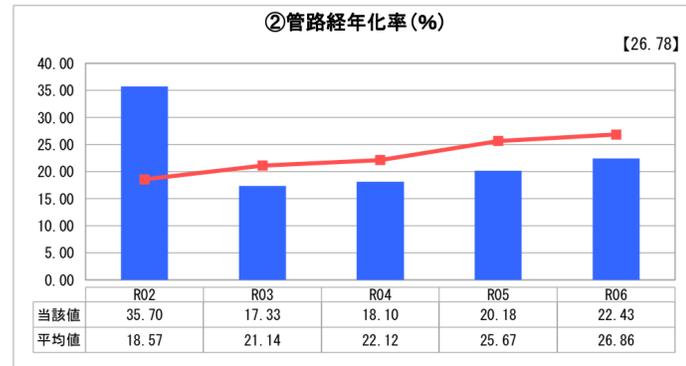
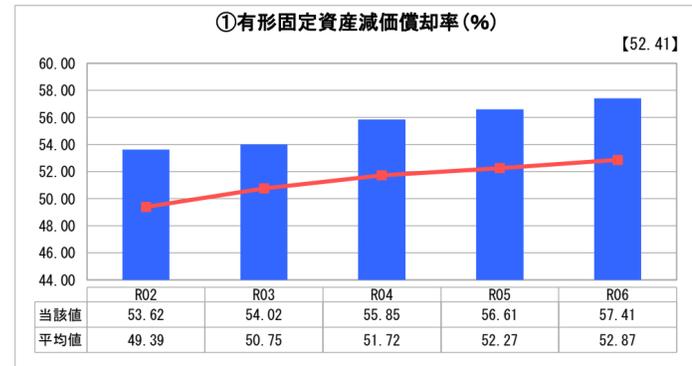
今後も経営戦略に基づき、計画的に水道施設の整備や更新工事等を行い、安定した経営を行ってまいります。

2. 老朽化の状況について

本町の水道事業は、昭和36年に開始しており、布設した配水管の老朽化が顕著になっております。有形固定資産減価償却率は、類似団体平均や全国平均を上回っており、法定耐用年数を超えた管や法定耐用年数に近い管が多いことを示しております。

一方で管路更新率は、令和6年度で0.15%と類似団体平均や全国平均よりも低調であり、より一層の管路更新に取り組んでいく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後も、更なる人口減少や高齢化及び節水器具の普及等が進むことが予想されるとともに、物価高騰により、益々水道事業経営が厳しい状況が続くと考えられます。

まずは、早急に水道料金の見直しを行い、収入の増加を図るとともに、より一層の費用の削減と有収率向上に取り組んでまいります。また、アセットマネジメントによる資産把握と管の更新を徹底し、安全で安定した水道水の供給と安定した経営を行ってまいります。